

巻頭言

イノベーションの場としての オムロン サイニックエックス



- ・企業理念を、より現代的なスタイルで体現する場として創設
- ・そのために、研究のみならずそのためのマネジメントも刷新し新しいスタイルを築き上げることを目指した。

1. 近未来を作る会社 ～オムロン サイニックエックスに込めた思い～

オムロンでは、創業者・立石一真の時代からオムロングループに受け継がれた技術経営スタイル「SINIC理論」という土壌で育まれた近未来デザインからのバックキャストを実践しています。オムロン サイニックエックス (OMRON SINIC X 以下OSX) は、この最先端を担い、近未来の社会から必要とされる革新的技術を世の中に先駆けて創出し、社会実装を具現化するための技術アーキテクチャをデザインするミッションを背負い、2018年に東京・本郷の地に誕生しました。会社名に入っている「サイニック」は冒頭にも登場した“SINIC”すなわちオムロンの創業者・立石一真が提唱した未来予測理論そのものです。そこに未知なる技術“X”を掛け合わせ、技術革新にもとづく近未来デザイン作りを推進していくという思いを会社名に込めています。OSXでは、世の中の変化の兆しと、そこから生まれる社会的課題をいち早く捉え、解決のボトルネックとなる技術的課題との重なりから、本質的な研究上の「問い」、魅力的な技術創出の「お題」を作り出すことを目指しています。社会的課題に根ざした研究課題を共有して、アカデミアとビジネスが本気で英知を結集することで、社会を動かし人々のライフスタイルを革新する大きなインパクトが実現できるとの信念の下、日々の活動を進めています。

OSXはもともと「AIの研究拠点を新たに設立する」という構想で準備が進められていました。しかし、オムロン社内でのディスカッションを深めていく中で拠点構想が日夜ブラッシュアップされていき、最終的には「近未来をデザインし、そのために必要なテクノロジー群を構想し、中でもコアとなる革新技術を創出するための近未来デザイン研究拠点」というコンセプトへと発展していきました。しかしながら、オムロンのメンバーだけでこの非連続的であり複雑さを増す十数年先の技術進化を予測し近未来をデザインすることは極めて困難です。ゆえに、このOSXという「出島」をオープンイノベーションの場として、国内外から優秀な研究者や専門家などを招いてディスカッションしながら革新技術起点の近未来をデザインしたいという思いをもつようになりました。その結果として生まれたのがOSXです。

もともとオムロンは、創業者の描く近未来デザインをベースに、世界に先駆けて信号制御システムや自動改札機など数々のイノベーションを生み出してきました。創業者はこれを「ソーシャルニーズの創造」と呼

Our Mission (社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values 私たちが大切にしている価値観

- ・**ソーシャルニーズの創造**
私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。
- ・**絶えざるチャレンジ**
私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。
- ・**人間性の尊重**
私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

図1 オムロンの企業理念

んでおり、今でもオムロンの企業理念のなかに根付いています (図1)。

この文脈でOSXという組織を表現するならば、創業者・立石一真の頭の中に存在したであろう「近未来デザイン創出のメカニズム」を、オープンイノベーションと人財の多様性にもとづいて組織実装するという挑戦の証とも言えます。人財の多様性については、これまでに10か国以上の研究者がOSXに来て「企業理念 (図1) の実践は下から」をモットーに互いに切磋琢磨しながら共に活動してきました。今後もSINIC理論という未来予測論を新時代に即したものと見据えながら、革新技術を起点にしたソーシャルニーズを創造するユニークな研究拠点としての存在感を高めていきたいと考えています。

2. 本特集によせて

「近未来デザイン」といっても、単なる未来の夢ではありません。OSXでは具体的な未来の姿をクリアな社会実装のイメージにまで落とし込みます。現在はAIやロボティクス、センシングなどが着目している技術の中心ではありますが、SINIC理論でいうところの機械が人の可能性や創造性を広げる「人と機械の融和」を具現化していくためには、人と機械のコミュニケーションや、その間を流れる知識や情報などの多様な

データのハンドリング、機械の身体性など、さらに深掘りしていくべき技術領域はどんどん広がっていています。この度発刊されたOMRON TECHNICSでは、OSXが誕生して3年あまりで生み出されてきたこれら技術領域における「近未来デザインの種」の代表事例をご紹介します。その多くは、著名な国際学会などで発表してきた論文の和訳をベースに、それぞれの技術について解説を加えた構成になっています。

本特集で紹介した技術の数々は、近いうちに社会実装され世の中に登場してくるでしょう。OSXでは引き続きグローバルレベルでのスピード感に遅れることなく、技術革新と社会実装とを世に先駆けて高度に繋げていく活動に邁進していきます。

オムロン株式会社 技術・知財本部 副本部長 兼 技術・知財戦略室長
兼 オムロン サイニックエックス株式会社 代表取締役社長

諏訪 正樹